

為替週間展望 = ドル円は新型コロナ警戒で上値重く推移か

[4月6日からの1週間の展望]

週間高低 (カッコ内は日)		3月30日～4月3日		
始値	高値	安値	終値	前週比
ドル・円	107.95	108.73(31)	106.92(1)	107.96 +0.02
ユーロ・ドル	1.1132	1.1163(30)	1.0821(2)	1.0832 -0.0309

=====

国内株・金利 / 米国株・金利			
終値	前週末比	終値	前週末比
日経平均株価	17,820.19 -1569.24	日本10年債利回り	-0.008 -0.025
ダウ平均株価	21,413.44 -223.34	米10年債利回り	0.597 -0.078

=====

< 来週の主要経済統計等 >

- 6日 独2月製造業受注指数
- 7日 日本2月勤労者世帯家計調査
 - 豪2月貿易収支
 - 豪中銀 (RBA) 政策金利
 - 日本2月景気動向指数速報値
 - 独2月鉱工業生産指数
 - カナダ3月Ivey購買部協会指数
- 8日 日本2月機械受注高、日本2月経常収支、日本2月経常収支
 - スイス3月雇用統計
 - 米MBA住宅ローン申請件数
- 9日 独2月貿易収支、独2月経常収支
 - 英2月鉱工業生産指数、英2月製造業生産指数、英2月貿易収支
 - カナダ3月雇用統計
 - 米3月生産者物価指数、米新規失業保険申請件数
 - 米4月ミシガン大学消費者信頼感指数速報値
- 10日 中国3月消費者物価指数、中国3月生産者物価指数
 - 米3月消費者物価指数

【前回のレビュー】新型コロナウイルスの感染拡大が警戒される中、ドル円は上下に大きく振れやすくなり、円買いの動きが勝った場合は、ドル円は106円台までドル安円高に傾く可能性があり、ドル買いが勝った場合は110円台を回復する展開になるとした。

【世界全体で感染者数は100万人を突破】

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている。世界全体での感染者数は100万人を突破しており、死者数は5万人を超えている。米国での感染者数は世界最大で24万人に達しており、死者数も5700人超に達している。

トランプ米大統領は3月31日に今後2週間はとても厳しいものになるとの見方を示した。また、4月12日までに経済活動の再開を目標としていたが、行動制限を4月まで延長すると表明している。まさに非常事態となっており、雇用や景気へ甚大な影響が出てきている。

新規失業保険申請件数はこれまでおおむね20万人台で推移していたものの、3月26日発表(3月15～21日分)は328.3万件となり、リーマンショックの時にす

らなかつた水準まで急増した。翌週の4月2日発表（3月22日～28日分）では664.8万件とさらに倍増しており、2週分だけで1000万件に迫る勢いとなっている。米国での雇用情勢の急速な悪化は今後の米国景気に長期に渡って重石となろう。

米国では史上最大の2兆ドルの景気対策を打ち出したものの、今後の先行く不透明感もあって米国株は上値の重い展開が続いている。国内でも緊急事態宣言やロックダウン（都市封鎖）が警戒される中、日経平均の上値は重く、リスク回避の円買いも入りやすく、ドル円は上値重く推移している。

3月31日に米連邦準備制度理事会（FRB）が外国の中銀へのドル資金の供給開始を決定しており、緊急避難的なドルキャッシュの手当てが抑えられたこともドル円には圧迫要因となっている。

新型コロナウイルスの感染拡大は当面は続くと思われる。終息に向かうどころか拡大傾向にあり、感染者数や死者数は増加が各国の株価の圧迫要因となりそう。リスク回避の円買いも出やすいとみられることからドル円は上値の重い展開となりそう。一時的に戻しても戻りは限定的となるだろう。ドル売り円買いが加速すれば、105円の節目を試す可能性もある。ドル円の目先の予想レンジは、105.00～108.50円。

今後の日米の経済指標やイベントとしては、7日に日本2月勤労者世帯家計調査、日本2月景気動向指数速報値、8日に日本2月機械受注高、日本2月経常収支、日本2月経常収支、米MBA住宅ローン申請件数、9日に米3月生産者物価指数、米新規失業保険申請件数、米4月ミシガン大学消費者信頼感指数速報値、10日に米3月消費者物価指数などがある。

【ユーロドルは軟調な流れが継続か】

ユーロドルは3月30日に1.1163近辺まで上昇したものの、その後は下げに転じている。欧州での新型コロナウイルスの感染拡大により、感染者数も死者数も増加傾向に歯止めがかからず、大幅な景気減速への警戒感の高まりが背景にある。

イタリア、スペイン、フランスなどでは感染者数だけでなく、死者数も大きく増加している。欧州連合（EU）加盟国の間では、内部での対立も起きている。危機を乗り切るためにスペインやイタリアなどはユーロ共同債（コロナ債）の発行などを求めているが、ドイツやオランダは反対意見が根強く、一枚岩とはなりにくい。

新型コロナウイルスの感染拡大により各国の景気は大幅な悪化が見込まれており、ユーロにも重石となっている。ユーロドルは下落基調にあり、この流れが継続するとみられる。ユーロドルの目先の予想レンジは、1.0600～1.1000ドル。

日米以外の今後の経済指標やイベントは、6日に独2月製造業受注指数、7日に豪2月貿易収支、豪中銀（RBA）政策金利、独2月鉱工業生産指数、カナダ3月Ivey購買部協会指数、8日にスイス3月雇用統計、9日に独2月貿易収支、独2月経常収支、英2月鉱工業生産指数、英2月製造業生産指数、英2月貿易収支、カナダ3月雇用統計、10日に中国3月消費者物価指数、中国3月生産者物価指数などがある。

MINKABU PRESS 佐藤昌彦

※投資や売買については御自身の判断でお願いします。

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については伴線期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。